

令和6年度茅ヶ崎市環境審議会 第3回生活環境分科会(WEB会議)会議要旨

日 時： 令和6年9月27日(金)15時00分から16時40分まで
場 所： 茅ヶ崎市役所 本庁舎4階 会議室2(市役所での参加、傍聴場所)
出席委員： 石井委員
(WEB 会議により出席)ブランジェ委員、三島委員、湯浅委員
出席職員： 【環境政策課】柳下課長、森課長補佐、石橋主事

1 茅ヶ崎市環境基本計画年次報告書(令和6年度版)の評価

及び茅ヶ崎市環境基本計画の施策評価について

- 政策目標5(施策②③～②⑤)について評価を行った。
- 主な意見等は次のとおり。(○=委員、■=市)

【政策目標5】環境に配慮した行動を実践するまち

施策②③庁内の環境意識の向上

【年次報告書の評価】

〔評価できる点〕

○職員の環境意識が向上している。

○環境マネジメントシステム(C-EMS)の運用について外部機関による監査を受け、適正な運用に努めている。

〔今後検討すべき課題〕

○生物多様性の理解度が、職員半数強の方々にとどまるのはとても残念。他部門とのコミュニケーションの取り方とか自己啓発を行い、期末目標の73%を目指して欲しい。

○市有施設におけるエネルギー消費が減少傾向にないため、目標達成に向けて具体策を講じる必要がある。

○市内施設のエネルギー消費量は毎年増えている気がするが、減らすことは難しいのか。

■博物館のオープンや、小和田公民館のリニューアルオープンなど新たな施設稼働によるエネルギー消費の増加も影響している。また、ここ数年は夏場特に暑い日が続いているので、エアコンや空調に関わるエネルギー消費が増えていると考えている。

○何か具体的な対策や対応といったものはあるのか。

■待機電力の削減効果を検証するため、職員のパソコンの電源を全庁的に抜いて帰ることをしたり、離席時等スリープモードの徹底について啓発したりしている。しかし、動力源に関わるエネルギー消費が非常に多く、なかなか大きく削減できるような効果的な取り組みには繋がっていない。

■施設のエネルギー使用量については、ラプスというシステムがあり、そこに各施設がどれだけのエネルギーを使用したかを入力しているので、今後はそういった情報を活用して少しでも改善したい。

○なかなか大変な部分もあると思うが、引き続き努力を続けて欲しい。

【施策評価】

○職員の一貫教育が向上しているので、引き続き取り組んでほしい。

○施設におけるエネルギー消費量を減らすための改善、具体的な対策を講じる必要がある。

施策②④環境に配慮した活動の支援

【年次報告書の評価】

〔評価できる点〕

- 環境測定器の貸出し、提供をしている。
- 自然環境評価調査関連の講座を実施している。
- 市民活動団体の行事の周知、イベントの後援、講演講師派遣による支援をしている。
- 市民だけではなく、事業者向けの情報提供も行っている。

〔今後検討すべき課題〕

- 自治会を含め関係団体との連携。
- 事業者向けの取り組みは、脱炭素や省エネルギーに関連したものだけではなく、廃棄物やその他環境に関わる問題についても含めることはできないか。
- 事業者向けの支援や活動は、省エネが協調されがちではあるが、ごみの削減とかも含めての取り組みはできないか。
- 事業者向けの取り組みとしては、脱炭素や省エネルギーに関連したものが中心となるが、逆にビーチクリーンの際などは、ウォーターサーバーの設置を事業者に提供したり、緑化推進の面で言えば、工場等緑化推進協議会と連携協力したりしている。しかしながら、脱炭素や省エネルギーに比べ、廃棄物やごみ処理、緑化に関する事業者向けの情報発信は少ないのが現状である。
- 市民のほか、自治会、市民団体などへの働きかけや連携をしていくことも効果的ではないか。

【施策評価】

- コロナ明けで間もなくとも環境に配慮した活動への支援に努め、取り組みを継続することが大切なので、引き続き市民団体や事業者の環境活動について、情報収集及び情報発信に取り組んで欲しい。
- 支援の内容について、利用者の意見を聞いて審議会、分科会でも共有し、改善していくとよいのではないかな。
- 市民からのフィードバックや次の活動の支援に繋げるためのフィードバックについて、何か取り組んでいることはあるか。
- 市民団体や事業者の活動については、情報発信面の支援が中心である。特出しで情報発信の仕方についてのフィードバックをいただくことはしていないが、情報発信をする際に効果がどうだったかとか、改善点はあるかなどを伺う機会はある。
- 自然環境評価調査養成講座なども、対面でやっているのであればアンケートなどを取り、情報を入手した広報媒体は何かとか、参加理由は何かなどを把握すれば、参加者を増やすためにはどこに働きかけをすれば良いか見えてくるかもしれない。

施策⑤環境に関する情報の発信

【年次報告書の評価】

〔評価できる点〕

- 環境フェア2023開催できた。
- 情報発信の電子化が進み、様々な媒体を用いて情報発信情報提供を行った。特にLINEアカウントのセグメント配信は、多くの市民が複数回開くアプリケーションなので、リアルタイムで即効性があり高い効果が得られていると思われる。

〔今後検討すべき課題〕

- コロナ禍など予期せぬ事態はあり現況値は落ち込んだものの、施策指標に対する現況値は期を追うごとに上昇や増加していくようにした方がよい。
- イベント、講座等に関する情報発信回数については、コロナ禍による影響を引きずり、イベント自体が減っているということもあるが、それに加え広報紙が月2回から1回の発行に変更になったことや、市民団体や事業者が実施するイベントの掲載基準が変更となったことが影響している。
- 環境フェアの参加団体数については、コロナ禍前までは展示中心の開催で、出展者数も多かったが、令和4年度から展示メインのイベントからワークショップなどを取り入れた内容に変更したため、会場スペース等の事情もあり参加団体数が減っている。来場者数について言えば、令和5年度は天候が悪かったにもかか

わらず、令和元年度の時より増えているので、イベントの内容自体は以前より好評と考えている。

○ネットのアクセス数は期末目標を既に上回っているため、今後の取り組み方を検討する必要がある。

■現況値で期末目標を達成している指標の取り扱いについては、見直しも含めた検討が必要と考えている。

○屋根貸しによるソーラーパネルの設置の後押しなどについての見解はいかがか。

■既存の建物への設置については、耐荷重の問題もあるので難しい部分もあり、十分な検討には至っていない。

○地域の小学校に設置したかったが、躯体の構造的にダメだったといった話は聞いたことがある。

○なぜ、施策25の評価でソーラーパネルに対する意見がでたのか教えて欲しい。

■おそらく年次報告書P74にコラムとしてソーラーパネルを題材とした講演会の記事を掲載しているため、それを見ての御意見と認識している。

○情報発信の取り組みは評価できるが、どのくらいの人に届いているのかを確認する必要がある。

■LINEについては、セグメント配信という形で配信していて、環境に関する情報の受信登録をしている方は3千2、3百人くらいである。

【施策評価】

○新たな情報発信手段も活用し、環境に関する情報の配信に努めて継続することが大切。引き続き取り組みを継続して欲しい。

○情報発信のための媒体変化のスピードが速いので、新しいものを取り入れていくことが必要。

○今度、計画を作る際には、SNS やネットにおける指標を作ってもよいのではないか。

■一か所訂正をお願いしたい。施策評価の資料 P49、3年間の実績を四角囲いで表示している部分の施策指標番号②のイベント・講座等に関する情報発信回数の令和5年度の実績が、202回と記載されているが、正しくは205回なので、訂正してお詫び申し上げます。

2 その他

○コロナが明け、経済活動が戻っていくにつれて事業系のごみ排出量は増加していくと思うが、それに対する市の考えはあるか。

■排出量の多い事業者に対しては、減量化等計画書の提出をさせている。

○不適正排出を警告するシールを各自治会に配布しているが、その配布数を確認することで、問題のある集積場所や地域、ごみを多く出している地域などがわかるのではないか。

■収集ルートが自治会ごとではなく、配布も求めに応じて随時配布しているため、シールの配布数やごみの回収量で、どこが集積場所や地域の不適正排出が多いとか、ごみの排出量が多いといった分析をすることは難しい。

○戸別収集という大きな取り組みをするのであれば、その場で各家庭への意識啓発や情報発信もできるのではないか。

■個別収集については、市民アンケートを取ったり、資源循環課と環境事業センターで色々と検討したりしている段階であり、9月25日に記者発表はしたが一部の地域では試行的に実施する。各家庭に対する働きかけは、ステーション収集よりも効果的な部分もあると考えられるため、意見については担当課と共有する。

○ごみの排出量を減少させるためには、色々な部分でコストが発生するため、それをどうやって解決していくかが将来的な課題である。

→事務局より今後の流れについて説明を行った。

- ・今後、分科会長が生活環境分科会の評価コメントの取りまとめを行う。
- ・取りまとめた評価コメントは、分科会委員の確認後、安齋会長に送付する。
- ・各分科会の評価コメントをもとに安齋会長が答申案を作成する。
- ・次回、第2回茅ヶ崎市環境審議会(全体会)で、答申案の審議を行う。
(12月開催予定。詳細は未定)

■配布資料

資料 事前評価シート(生活環境分科会)